

# NEWS Club COA

## 第34号

NISAとiDeCo、結局どっちをやれば良いの？

FP（ファイナンシャルプランナー）・IFA  
（金融商品仲介業  
／独立系ファイナンシャルアドバイザー）

茂木 政樹



2024年12月6日発行

## タイトル【NISAとiDeCo、結局どっちをやれば良いの？】

結論：**どっちもやれば良い**

資産運用を始めるとき、よく耳にする「**NISA**」と「**iDeCo**」。これらは将来の資産形成に役立つ制度ですが、どちらを選ぶべきか迷う方も多いでしょう。ここでは、2024年に改定されたNISAの制度内容と、iDeCoの特徴を簡単に解説し、両方の活用メリットについてご紹介します。

### **NISA（2024年改定後）とは？**

2024年からのNISAは、**成長投資枠**と**つみたて投資枠**に分かれ、**非課税での投資が一生涯利用可能**になりました。また、非課税で運用できる**年間の投資枠が大幅に増加**しています。

- ・ **成長投資枠**：年間240万円までの投資が非課税対象となります。株式やETFなどに自由に投資が可能で、柔軟な運用をしたい方におすすめです。
- ・ **つみたて投資枠**：年間120万円までの投資が非課税対象となり、長期の積立に向いています。

また、**NISA全体での非課税投資総額は1,800万円**までとされており、この枠内であれば、**成長投資枠・つみたて投資枠**を組み合わせ活用できます。

**ポイント**：NISAは、いつでもお金を引き出せるため、急な出費にも対応しやすい柔軟な制度です。

### **iDeCoとは？**

**iDeCo（イデコ）**は、老後資金を準備するための個人型年金制度です。iDeCoで積み立てた資産は原則として60歳になるまで引き出せませんが、毎年の掛金が全額所得控除となるため、節税効果が期待できます。

**ポイント：**iDeCoは長期の「老後資金」準備として、計画的に積み立てるのに適しています。

どっちもやれば良い！

NISAもiDeCoも、それぞれメリットとデメリットがあり、目的が異なります。そこで、**両方を活用すると資産形成に効果的です。**

- **NISA**は、ライフイベントに合わせた柔軟な資産運用として。
- **iDeCo**は、老後に備えた安定した積立として。

どちらか一方を選ぶのではなく、2つを組み合わせることで無理なく資産を増やせます。

**万が一の備えも考慮しよう。**

将来のために資産を積み立てている間、もし自分に万が一のことがあった場合に備えて、生命保険も併せて検討することをお勧めします。**生命保険があれば、資産形成の途中で何かあってもご家族が経済的に困らないようサポートできます。**

**結論：**2024年以降のNISAは、**年間360万円の非課税枠と一生涯の非課税総額1,800万円**により使いやすくなりました。**iDeCoとあわせてどちらも活用するのがベスト。**さらに、万が一に備えた**生命保険**も視野に入れて、安心して資産形成を進めましょう。

FP（ファイナンシャルプランナー）、  
IFA（独立系ファイナンシャルアドバイザー）  
茂木政樹

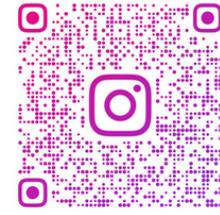
★茂木さんに直接ご相談出来ます。

FP（ファイナンシャルプランナー）

IFA（独立系ファイナンシャルアドバイザー）

茂木政樹

Instagram <https://x.gd/j7WzU>



@RAKUSON1978

LP <https://x.gd/b2F3a>

